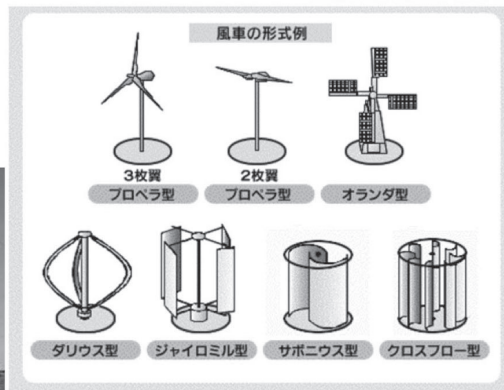


日本共産党埼玉県議団公開研修会記録集

原子力技術の根本問題と 自然エネルギーの可能性

2012 年 9 月 11 日 さいたま共済会館



ごあいさつ

日本共産党埼玉県議会議員団は2012年9月11日、「原子力技術の根本問題と自然エネルギーの可能性」というテーマで公開研修会を開催し、このたび、その内容をまとめた記録集を作成いたしました。

講師をお願いした大友詔雄氏は、地域資源である自然エネルギーを総動員したしくみづくりを北海道で実践されている方で、当日の講演も具体的な取り組みを詳細にわたってお話しいただきました。地域経済の振興という観点からも、自然エネルギーの活用は大きな意味があることを学びました。また、埼玉県温暖化対策課の担当者からは埼玉県の取り組みについてご報告いただきました。

この記録集が、原子力発電の問題点や自然エネルギーの取り組みを考える一助になれば幸いです。

2013年1月

日本共産党埼玉県議会議員団

団長 柳下 礼子

村岡 正嗣

目 次

講演 原子力技術の根本問題と自然エネルギーの可能性……………	1
(株) NERC (自然エネルギー研究センター) 代表 大友 詔雄	
被災地の現実……………	1
原発事故のメカニズム……………	3
福島の後——チェルノブイリから推察する……………	4
自然エネルギーとは何か……………	7
自然エネルギーの量と可能性……………	8
ヨーロッパの状況——オーストリア、ドイツ、デンマーク……………	9
日本でも実現可能——北海道での取り組み……………	12
雇用効果が大きい自然エネルギー……………	14
木質バイオマス活用の前提条件……………	17
自然エネルギー社会を準備する……………	19
大都市での自然エネルギー普及……………	20
今はどういう時代か——エネルギーを巡って……………	20
県当局の説明……………	24
埼玉県温暖化対策課主幹 渡邊 良明	
国のエネルギー政策……………	24
埼玉県のエネルギー政策……………	24
太陽光発電普及促進策……………	25
三ヶ山メガソーラー事業 (寄居町) ……	28
質疑応答……………	29
まとめ……………	36
大友 詔雄	

※表紙および本文中の図表は、公開研修会当日の配布資料から抜粋したものです。